



やしお



令和2年
(2020年)

9月号

毎月10日発行



●発行／八潮市 ●編集／秘書広報課 〒340-8588埼玉県八潮市中央1-2-1
TEL 048-996-2111(代表) ホームページ <http://www.city.yashio.lg.jp/>
FAX 048-995-7367 Eメール hishokoho@city.yashio.lg.jp



左の2次元コードから「八潮市公式ホームページ」へアクセスできます。

災害に備える ～平常時からの準備～

令和2年7月、熊本県を中心に九州から東北地方にかけ日本各地で豪雨災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。近年では温暖化などの影響により、海水温の上昇に伴い大気中に含まれる水蒸気量が増加し、豪雨災害が発生するリスクが高まっています。また、首都圏では、今後30年以内に、70パーセント

の確率でマグニチュード7クラスの首都直下型地震が発生すると予測され、本市においても最大震度6強の揺れが想定されています。このような自然災害に対し、受ける被害を軽減するため、日頃からの備えが大切です。

問危機管理防災課 ☎ 305

地域の災害リスクを知る

「八潮市洪水地震ハザードマップ」や「国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)」(<https://suiboumap.gsi.go.jp>)を活用し、自分の住む地域のリスクを調べましょう。

八潮市洪水地震ハザードマップ 浸水の範囲・深さ、市に大きな影響を及ぼす可能性がある東京湾北部地震による建物倒壊の危険性や液状化の可能性など

浸水ナビ 指定した地点の浸水の深さ・到達時間・継続時間など

備蓄をする

ローリングストック法などを用いて、避難生活に必要な物を普段から備蓄しましょう。

ローリングストック法

- ①食料(レトルト食品など)・水を備蓄として多めに用意する。
- ②定期的に、古いものから順に食べる。
- ③食べた分を買い足し補充する。



身の安全を確保する

近年発生した地震で、けがをした原因の多くは家具の転倒や落下です。タンス、食器棚などの家具や冷蔵庫、テレビなどの家電製品を固定して、家の中を安全にしましょう。

職場などで被災した場合も想定する

交通機関が止まり、やむをえず徒歩での帰宅をする場合に備え、地図アプリなどを活用し、事前にルートを確認しましょう。

また、職場にスニーカー、モバイルバッテリー、携帯ラジオ、紙の地図、菓子類などの軽食を置いておき、災害時の帰宅に備えましょう。



災害に関する情報を収集する

災害の最新情報を収集し、早めの行動をすることが重要です。防災行政無線やテレビのデータ放送を活用しましょう。



避難時にすること

避難所に行く場合、必要なものは自分で用意しましょう。また、通電火災を防ぐためブレーカーを切りましょう。

非常用持ち出し袋の例

- 飲料水 食料品 貴重品
- 救急用品 日用品 衣類
- 照明 その他
- (新型コロナウイルス対策として)
- マスク 体温計 消毒液など



資料館における避難所開設の中止

指定避難所である資料館の空調設備の工事期間中は、避難所の開設ができません。災害による避難に備え、市ホームページやハザードマップで、自宅から近い避難所を事前に確認してください。

工事期間 12月末日まで
※工事の進捗状況により期間を変更する場合があります。

避難について

新型コロナウイルスの感染が懸念されるなか、避難所以外への避難(分散避難)も選択肢です。「避難」とは「難」を「避」けることであり、避難所に行くことが避難ではありません。自宅が安全な場合は、自宅に留まる在宅避難や親戚や知人宅への避難も選択肢です。自宅が頑丈な高層階や危険な区域ではないなど、安全が確保されている場合は自宅に留まりましょう。

市の人口と世帯数

令和2年(2020年)8月1日現在
前月比

人口	92,465人	(-5人)
男	47,993人	(+6人)
女	44,472人	(-11人)
世帯	44,154世帯	(+33世帯)

今月の主な内容

新型コロナ関連情報	2	お知らせHOTコーナー 案内、催し、募集	6~9
令和2年国勢調査/動物愛護週間	3	子育て情報コーナー/保健センターからのお知らせ	10
世界アルツハイマー月間/健康増進普及月間/屋外広告物の適正管理	4	各種無料相談/840伝言板	11
下水道の日/秋のスポーツ教室	5	やしお八つの野菜de健康レシピ/図書除菌機を設置/いきいきやしお写真館	12